

## あ い さ つ

青 木 村

おはようございます。

本日、令和3年第1回青木村議会3月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆様方にご出席をいただき、誠にありがとうございます。日頃議員の皆さんには、村政の運営にご理解・ご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

まず冒頭に申し上げなければならないことは、1月17日に急逝された堀内富治議員へのお悔みであります。

最近まで議員活動に励んでおられましたのに、誠に残念でなりません。村議会議員として長年ご活躍いただき村政にご尽力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

堀内議員は、すべての議会活動がそうではありますが、一般質問に関しても自ら現地へ行き、見て、直接聞いた上での鋭い視点と広い視野の下で質問をされておられました。村民の目線に立ち、弱者と言われる方々に優しく、しかしその中には太くしっかりとした一本の基軸がありました。穏やかな語り口でありましたが、私たちが気づかないような大所高所からの提案も数多くいただきました。

私達は、「村政に誠意と情熱をもって努力します」という堀内議員の言葉を大切に、村政に生かしていくことをお約束すると共に、衷心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、現在我が国は新型コロナウイルス感染症という100年に一度あるかないかの未曾有の国難に直面しており、国民の生活や経済活動に甚大な影響が及んでおります。村民の皆さんの農業、商工業、観光などは、極めて深刻な経済状況であります。

村では「感染拡大の防止」、「経済活動の維持」、そして「健康と安全の確保」に努めてまいりました。引き続き、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」と「地域経済活動の活性化」の両立を図ってまいります。

昨年12月に青木村で複数の新型コロナウイルス感染者が確認された際は、小中学校や保育園を休校・休園としたり、施設を閉鎖したりするなど、関係する方々には多くのご協力をいただきました。村としては、情報通信や防災メール、保護者には学校の緊急メール等を利用しいち早く情報をお伝えし、誹謗中傷のない村にするよう呼び掛けてまいりましたが、12月24日には学校が再開され、誰一人差別されることなく、以前と同じ日常が戻ってまいりました。関係された方々には、心から感謝するところです。

感染予防対策の決め手と言われるワクチン接種につきましては、今のところ、4月以

降、村内に住所のある65歳以上の方々に集団で実施するための準備（委託者の決定、会場の確保、希望者の把握、ワクチン保管設備など）に取り組んでおります。

さて、2月19日に公表された内閣府「月例経済白書」によりますと2月は、『景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。』とのことであります。

続いて、先の12月定例議会閉会後から本日までの主な行政報告をさせていただきます。

1月2日(金)、「青木村成人式」が男性17名、女性14名（リモート1名）の計31名が出席して開催されました。

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して、時間を短縮し、祝賀会を行わない形式での開催となりましたが、恩師やクラスメートとの久しぶりの再会を喜び、落ち着いた和やかな雰囲気の式典となりました。

新成人の代表から、家族や青木村の教育への感謝や、新たな決意が述べられました。また県外に出ている人からは、「離れてみて改めて、家族やふるさとのありがたみを感じた。」「村に帰って地域に貢献したい。」など嬉しい言葉を聞くことができました。

1月19日(火)、「青木村当郷区岡石工業地整備事業 安全祈願祭・起工式」が文化会館で開催されました。

コロナ禍により昨年12月から延期され規模も縮小となりましたが、竹内製作所の皆様をはじめ、太田副知事など約20名が出席して工事の安全を祈願いたしました。

現在は、天候にも恵まれ予定通りのスケジュールで進んでおります。工期は今年の11月29日までで、完成後は竹内製作所様に造成地を取得いただき、新工場を建設していただくことになっています。事故防止に努めるとともに、周辺的生活環境にも十分配慮しながら工事を進めてまいります。

次に今年度の主な事業の進捗状況について申し上げます。

#### 総務企画課関係

- 電算機器マイナンバー対応システム改修・・・・・・・・・・・・・達成
- 役場庁舎空調設備更新工事・非常用発電機更新工事・・・・・・・・・・・・・達成
- 指定避難所空調設備設置工事（中挾・沓掛・殿戸）・・・・・・・・・・・・・達成
- 老人福祉センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月達成見込
- 防災行政無線のデジタル化更新事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・達成

○防災実施計画策定・洪水ハザードマップの作成 . . . . . 達成

- ・道の駅北側（道路の拡幅と駐車場の用地）土地購入 . . . . . 一部達成
- ・地域おこし協力隊隊員1名増 . . . . . 達成
- ・地域おこし企業人交流プログラム受入れ . . . . . 未達成
- ・消防団員難燃性活動服購入 . . . . . 達成
- ・国勢調査の実施 . . . . . (10月1日国勢調査実施)
- ・リフレッシュパークあおき みやぶちの屋根修繕 . . . . . 達成

税務会計課関係

○固定資産課税客体調査（前期分） . . . . . 達成

建設農林課関係

- 人農地プランの図面印刷製本 . . . . . 達成
- 農業用水利施設長寿命化計画策定業務委託 . . . . . 翌年度繰越
- 沓掛琴山川整備工事 . . . . . 翌年度繰越
- 飯縄山線林道の修繕工事 . . . . . 達成
- 令和元年台風19号災害復旧事業（林道3件・村道1件・農地農道6件）  
. . . . . 3月達成見込

- 農業用機械導入補助金 . . . . . 達成
- 林業振興費地域林政アドバイザー業務委託 . . . . . 3月達成見込
- 森林環境譲与税事業委託 . . . . . 3月達成見込
- 保全松林健全化整備事業 . . . . . 達成
- 松林健全化推進事業 . . . . . 達成
- 上田地域林務行政連絡協議会設立 . . . . . 達成
- 簡易水道事業・下水道事業の公営企業会計への移行 . . . . . 達成

商工観光移住課関係

○移住定住促進費移住者と地区をつなぐ集落支援員の配置 . . . . . 達成

- 商工会60周年記念事業 . . . . . コロナ禍のため未実施

住民福祉課関係

- 第8期介護保険事業計画策定 . . . . . 達成
- インフルエンザ予防接種費用補助金15歳まで拡充 . . . . . 達成
- 障害者通所通園等推進事業補助金（成人対象拡充） . . . . . 達成
- 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定 . . . . . 達成

- 戸籍システムの機器・戸籍附表システムの更新・・・・・・・・・・達成
- 健康管理システム健診結果取り込みシステムの導入・・・・・・・・・・達成
- アレチウリ等特定外来種駆除調査・・・・・・・・・・達成  
(駆除活動はコロナ禍のため未実施)
- 生ごみ減量化資材生産者補助金支給・・・・・・・・・・達成
- 青木村環境保全に関する条例・施行規則の見直し・・・・・・・・令和3年度達成見込

**教育委員会関係**

- 五島慶太未来創造館の建設・・・・・・・・・・達成
- 小中学校G I G Aスクール構想I C T環境の構築・・・・・・・・達成

- 文化会館防火シャッター危害防止装置取付工事・・・・・・・・達成
- 美術館階段修復工事・・・・・・・・・・達成
- 図書館蔵書購入費用地域関連図書購入費用の拡充・・・・・・・・達成
- 小学校体育館雨漏り修繕工事・・・・・・・・・・達成
- 中学校給食調理室食器洗浄機更新・・・・・・・・・・達成

**新型コロナウイルス感染症対策**

国の第1次・第2次地方創生臨時交付金を活用した事業及び青木村が単独経費を追加して取り組みをしてきた事業についてご報告をさせていただきます。

総事業費は全体で約2億8,000万円（令和3年2月22日現在）で、3月末までには令和2年度分の全ての事業について完了をする予定です。第3次分につきましては現在事業内容を検討しており、4月から実施できるよう準備をしております。

●事業総額・・2億7,819万4千円（内地方創生臨時交付金2億4,051万7千円）

○子育て支援、教育、福祉関係・・・・7,664万8千円

- 【詳細】**
1. 学校臨時休校に伴う学習等への支援事業---22,845千円（担当：教育委員会）  
臨時休校にともなう在宅で学べる環境と休校中の保護者の経済的負担を支援で、小中学校の補助教材の購入、休校中の家庭学習の基盤整備、休校中の食育健康維持の支援金として、614名の生徒・児童に対して2万円を支給しました。
  2. 家計急変学生等支援事業---3,060千円（担当：教育委員会）  
高校生等以上のお子様を就学させているひとり親の方、青木村を離れて就学している学生の方に対し、就学を継続するための支援金を給付するもので、102名の学生等に対して3万円を支援金として支給をしました。

## 3. 保・小・中学校給食費等軽減事業---27,152千円（担当：教育委員会）

子育て家庭の経済的負担を軽減するため、令和2年度の給食費の負担を軽減するもので、保育園・小学校・中学校の給食費、村外へ通園している子ども達の給食費を無料とし、0歳から3歳未満の子ども達に対しても給食費相当分の支援を実施しました。コロナの影響で、経済状況が厳しいため令和3年度も継続して、軽減できないか検討をしているところであります。

## 4. 高齢者等感染症予防支援事業---13,810千円（担当：住民福祉課）

75歳以上の高齢者921人に1万円の消費券を配布し、福祉医療受給者証をお持ちの方で身体障害者手帳、精神保健福祉手帳1～3級の方、療育手帳をお持ちの方、介護度3～5の方を在宅で介護する方227人に2万円の支援金を支給しました。

## 5. ひとり親家庭応援給付金事業---1,260千円（担当：住民福祉課）

ひとり親家庭の経済的負担を軽減するため、村単独上乗せとして42世帯に対して3万円の支援金の給付を実施しました。

## 6. 新生児特別定額給付金支給事業---3,000千円（担当：住民福祉課）

特別定額給付金の対象とならなかった、4月28日以降に出生した新生児に対して、特別定額給付金を、村が実施している出産祝金に上乗せをして給付をおこなうもので、これまでに18名に対して給付をおこないました。

## 7. GIGA（ギガ）スクール構想支援事業---5,521千円（担当：教育委員会）

小学校、中学校における情報通信技術による教育環境を整えるものです。

## ○農・商・工業、地域経済対策関係・・・9,892万8千円

## 【詳細】

## 1. コロナ感染拡大防止協力企業等支援事業---7,953千円（担当：商工観光移住課）

県と村が連携して実施をする休業要請に応じた事業者には、県と村から、また村独自の支援金を給付するものです。また、村商工会へ加入する事業者の商工会への年会費（2,353千円）について、今年度は村が負担し、商工業事業者の負担軽減を図りました。

## 2. プレミアム地域消費券発行事業---38,200千円（担当：商工観光移住課）

低迷する地域経済のため、地域消費券（プレミアム率 10% 30,000千円発行、40% 70,000千円発行、5% 20,000千円発行、10% 50,000千円発行）を発行し、地域経済の活性化を図りました。

## 3. 移住定住促進事業---2,000千円（担当：商工観光移住課）

他地域からの移住・定住者を促進するもので、今年度は村外からの2世帯へ支給をする予定です。

## 4. 宿泊者等拡大事業---1,735千円（担当：商工観光移住課）

観光サポーターズ倶楽部を活用し、低迷した宿泊を伴う観光業を支援するものです。

## 5. 個人事業主等応援事業---3,868千円（担当：建設農林課）

個人の販売農家等に対して事業継続にあたり、経費の一部を支援するもので、30,000円の支援金を93戸の農家へ給付を行いました。また、リンゴの木のオーナー制度に対し、来村せずに受け取る仕組みに対し、郵送料、労務に係る補助金の支給を実施しました。

## 6. 持続化給付金拡充、上乗せ事業---35,350千円（担当：商工観光移住課）

国が実施している持続化給付金の交付決定をうけた個人・法人に対して、上乗せをして給付金を支給するとともに、国の対象とならなかった個人・法人に対して拡充して給付金を支給するもので、上乗せ給付は、法人24件 個人72件 拡充給付は、法人5件 個人9件の支給を行いました。

## 7. 認定農業者経営応援事業---7,000千円（担当：建設農林課）

経済の低迷を受けて販売先・販売量が減少して経営をしている認定農業者について、経営基盤強化のため支援金を給付するもので、これまで21件の認定農業者に給付をおこないました。

## 8. 感染予防に配慮したモデルイベント実施事業---2,000千円（担当：総務企画課等）

感染予防を充分に行いモデル的なイベントを実施するもので、中止となった夏まつりの代替として花火大会の実施、新蕎麦まつりの中止を受けて、村内蕎麦店に対して独自イベント等に係る支援を実施しました。

## 9. 感染症拡大防止支援金---700千円（担当：商工観光移住課）

県が実施する小規模企業に対する支援（理容業・療術師・運転代行業）、に対して上乗せをして支援金を給付するもので50,000円を14事業者に支給しました。

## ○生活環境・交通政策・インフラ関係・・・1億261万8千円

## 【詳細】

## 1. 公共的空間安全・安心確保事業---58,294千円（担当：総務企画課等）

公共的な施設等で感染のリスクを減らす、マスクやパーテーションの配置、換気機能の向上、3密を回避するなど、感染拡大を防止する対策を行うものほか、診療所やラポートあおき等へ安全対策に係る経費を補助しました。

## 2. 避難施設環境向上事業---25,418千円（担当：総務企画課）

感染防止に配慮した災害時の避難施設の環境を向上するもので、パーテーションや段ボールベット、非常時の電源のとれる車両、給水タンク等を整備しました。

## 3. 地域公共交通高度化事業---6,301千円（担当：総務企画課）

現行のセミデマンドで実施している村営バスの運行形態を見直し、個別のニーズに応えるフルデマンド方式で運行を実施するもので、今後の方向性をまとめた計画の策定とフルデマンドバス車両1台を購入しました。

## 4. 行政事務体制継続・分散化事業---9,605千円（担当：総務企画課）

ワンフロアで業務を行っている役場の事務環境を見直し、分散して業務が行える環境を整備し、行政事務を安定して継続させるもので、ノートパソコンの購入や使用していない物置等を事務が出来る環境に整備をしました。

5. 公共交通応援事業---3,000千円（担当：総務企画課）

感染拡大により影響を受けている、千曲バス青木線について、生活路線として維持をするため、支援を行いました。

以上、令和2年度、地方創生臨時交付金を活用して村が実施した新型コロナウイルス対策事業について申し上げました。

次に、上田地域広域連合の主な事業について報告させていただきます。

最重要課題であります資源循環型施設建設の最初の手続きであります環境影響評価の配慮書について、県と協議しながら年度内の作成を目指しており、その後は広告・縦覧、住民説明会の予定です。また、地元6団体とは事業計画や地域のまちづくりについて協議しております。

二次救急医療体制については、信州上田医療センターの医師確保事業が昨年2月1日時点で68人でしたが、現在では研修医を含めて74人まで増えました。

広域消防の来年度事業で、川西署に高規格救急車（3,827万円）の購入・配置を予定しております。

### 一般会計補正予算（第6号）

つづいて、一般会計補正予算第6号について、

一般会計補正予算第6号は、歳入歳出それぞれ△5,036万2千円減額し、総額を36億8,374万2千円とするものです。

#### ●歳入の主なもの

##### 総務企画課関係

- ・地方消費税交付金について、205万3千円の増
- ・土地開発基金について、用地買収の実績から△3,000万円の減、公共施設整備基金は△4,500万円減
- ・村債 緊急防災減災事業債について、保健センター等5施設の工事入札差金により5,610万円の減
- ・減収補填債は地方揮発油譲与税がコロナウイルスの影響により減収が見込まれその補填として44万円増

**住民福祉課関係**

- ・介護給付・訓練等給付費負担金について、事業見込から465万1千円増。同じく県負担金232万5千円増
- ・新型コロナワクチン接種体制確保事業費国庫補助金320万1千円増

**建設農林課関係**

- ・直接支払推進事業費補助金は、事業実績から169万4千円増
- ・松林健全化推進事業（伐倒駆除）事業実績から△474万円減
- ・道路メンテナンス事業補助金として2,213万7千円増

**商工観光移住課**

- ・地域支え合いプラスワン消費促進事業補助金240万5千円

**●歳出の主なもの****総務企画課関係**

- ・役場庁舎・保健センター空調設備設置工事入札差額により△5,500万円減
- ・企画費 コロナ禍のため地域おこし企業人の採用がなかったことから△660万円減
- ・消防施設費 指定避難所4施設、防災行政無線システム整備工事入札差金△400万円減
- ・情報通信サービス費情報通信施設等整備基金積立金600万円増

**住民福祉課関係**

- ・介護給付・訓練等給付費 利用者増により900万円追加
- ・新型コロナウイルス予防接種事業費を新設し、コールセンター設置、接種会場の整備、接種券の配布等に320万2千円、接種情報システムの整備等に194万5千円

**建設農林課関係**

- ・松林健全化推進事業（伐倒駆除）実績から△1,119万8千円減
- ・道路メンテナンス事業橋梁一斉点検・長寿命化計画策定業務の国採択により4,000万円増

**教育委員会関係**

- ・子育てのための施設等利用給付金実績から155万円増
- ・GIGAタブレット購入費の入札差金△251万7千円減
- ・準要保護等児童生徒の実績から就学援助費として△37万2千円減
- ・保育所費 会計年度任用職員報酬（パート）実績から250万円増

令和3年度一般会計予算（当初）

さて、今議会では令和3年度予算を審議いただくことになっています。

基本的には、村長選挙のため骨格予算としています。

来年度は、第5次青木村長期振興計画後期基本計画の5年目（最終年）となります。地方創生総合戦略とあわせ「日本一住みたい村づくり」実現に向けて4つの重点推進プロジェクトと6つの施策分野の目標達成に向けて編成いたしました。

一般会計当初予算は、前年度当初比7.0%減の歳入歳出総額27億3,200万円

## 歳入（主なもの）

〈参考〉

		前年度対比	構成比
村税	3億5,383万円	△8.7%減	13.0%
地方交付税	12億5,470万円	4.0%増	46.0%
負担金	3,005万2千円	8.7%増	1.1%
国県補助金	2億8,143万2千円	13.9%増	10.3%
寄附金	1,212万3千円	0.0%	0.4%

## 歳出（目的別）

〈参考〉

		前年度対比	構成比
議会費	3,999万5千円	△0.6%減	1.5%
総務費	5億2,953万2千円	△26.8%減	19.4%
民生費	7億632万2千円	2.5%増	25.9%
衛生費	2億3,012万9千円	0.4%増	8.4%
農林水産業費	1億7,095万8千円	△11.9%減	6.3%
商工費	1億506万1千円	△14.3%減	3.8%
土木費	3億5,138万2千円	1.9%増	12.9%
消防費	1億2,815万3千円	△4.2%減	4.7%
教育費	2億6,065万1千円	△3.7%減	9.5%
災害復旧費	1万7千円	△19.0%減	0.0%
公債費	1億8,980万円	1.3%増	6.9%
予備費	2,000万円	566.7%増	0.7%

## 歳出(性質別)

〈参考〉

		前年度対比	構成比
人件費	7億2,333万8千円	3.5%増	26.5%
物件費	6億117万8千円	△2.9%減	22.0%
維持補修費	6,423万6千円	1.1%増	2.4%
扶助費	2億2,269万2千円	3.9%増	8.2%
補助費等	6億5,374万7千円	△0.7%減	23.9%
普通建設事業費	8,974万5千円	△72.5%減	3.3%
公債費	1億8,980万円	1.3%増	6.9%
操出金	1億3,986万3千円	△0.4%減	5.1%
その他	4,740万1千円	58.0%増	1.7%

歳入の主なものは、

- ①村税について、村民税、固定資産税の減収を見込み△8.7%減の3億5,383万円
- ②地方交付税については、国の地方財政対策により前年度を上回る額を確保していることから、国の見込みにより4.0%増の12億5,470万円
- ③国庫支出金について、衛生費国庫補助金一体化事業国庫補助金600万円、選挙費委託金衆参議員選挙500万円の増から1億3,807万円
- ④村債は、昨年実施した指定避難所空調設備設置工事が終了したことから緊急防災減災事業債が減額となったものの、国の地方財政対策により財源の不足分を穴埋めする臨時財政対策債が増額したため9,900万円となりました。

歳出の主な新規事業等につきまして、各課に関係します共済費共済組合負担金は、会計年度任用職員の制度改正によるもので増となっています。

## 総務企画課関係

- ① 財産管理費 雨量等監視システム定期点検委託料 219万6千円
- ② 役場庁舎受変電設備更新工事 562万1千円
- ③ 企画費長期振興計画策定業務補助業務等委託 319万円
- ④ 第2次公共施設総合管理計画策定委託 165万円
- ⑤ 選挙費 村長・村議選挙(1,578万4千円)・参議院議員選挙(1,186万4千円)・衆議院議員選挙費(1,563万5千円)の計上

## 税務会計課関係

- ① 固定資産課税客体調査(後期分) 1,331万円

**住民福祉課関係**

- ① くつろぎの湯高圧受変電設備更新工事に 275 万円
- ② 青木診療所整備事業補助金（配管設備更新）1,210 万円
- ③ 保健事業・介護予防の一体的実施事業 900 万円
- ④ 佐久医療センター救命救急センター運営事業補助金 44 万 2 千円
- ⑤ 塵芥処理費ゴミの分別ポスター等作製費 19 万 6 千円

**建設農林課関係**

- ① 入奈良本牧場支障木除去委託料 33 万円
- ② 森林づくり推進支援金事業 93 万 5 千円
- ③ 工業団地入口実施設計負担金 300 万円

**商工観光移住課関係**

- ① 加工用梅ハウス移設修繕費用 52 万円

**教育委員会関係**

- ① 公民館費夫神区公民館改築補助金 244 万 6 千円

**公営企業会計について**

- ① 簡易水道事業 施設機器取替工事 951 万 5 千円
- ② 特定環境保全公共下水道事業 処理場機器修繕工事 915 万 9 千円

以上、令和3年度当初予算の主な事業について説明させていただきました。

この予算編成作業を通して改めて強く感じましたことは村財政の厳しさであり、その中での村の将来にわたる自主自立の村づくりであります。特に今回はコロナ禍ということもあり、歳入・歳出両方での配慮をする必要がありました。

詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます。

さて、今議会は皆さんと同じく私も今期最後の議会となりました。

四年間を振り返ってみますと、私たちの故郷青木村は、外的な要因、内的な要因で大きく変わりつつあった時期でありました。この変動期にあって、ここにいらっしゃる議員の皆さんと共に一定の緊張感を保ちながら、村民の皆さんの命と暮らしを守り、更なる発展のため切磋琢磨し、ある程度の成果を収めることができましたことは、我が長い人生の中でも誠に感慨深いものでございます。改めて全議員の皆さんに、深甚なる感謝

を申し上げる次第であります。

最も深い思い出は、未だ進行中であります新型コロナウイルス感染症の対応についてであります。この困難の中にあつて、村民の皆さんの感染症予防、生活支援、経済対策、教育現場の対応など、数多くの初めての高度な経験をさせていただきました。

また、令和元年に発生した台風19号も久しぶりの大きな自然災害でした。公助に加えて自助・共助のための行動計画を策定しました。

そのほか、これまでの主な事業として

- ・ 国道143号青木峠バイパス（新トンネル）整備事業の着手
- ・ 株式会社竹内製作所の誘致
- ・ 五島慶太未来創造館開館
- ・ 青木診療所の高機能化
- ・ 村営バスのデマンド化
- ・ 令和元年特殊合計出産率2.3人に
- ・ 出産祝い金の増額
- ・ 青木村警察官駐在所の移転新築
- ・ 保健師、管理栄養士職員の増

などが挙げられます。

これらの事業に鋭意取り組んできたつもりではありますが、果たして村民の皆さんの評価は如何か、及第点がいただけるか、甚だ心配なところです。

5月7日以降、新しく就任される村長及び村議の皆さん方には、現在進行中のコロナ対策、超少子高齢化・人口減少への対応、国道143号青木峠バイパス工事の支援など、大きな課題への対応をお願いするものであります。またアフターコロナの時代へ、この未曾有の災難をきっかけに新しい村づくりの課題を洗い出し、村民の皆さんと共に目標を再構築して、未経験の困難に打ち克っていただきたいと思ひます。

いずれにいたしましてもこの四年間、共に村政の課題に悩み、その解決に向け積極的に行動していただいた責任感あふれる村会議員の皆さん、そして優秀な職員の皆さんと、故郷青木村の発展に尽くせたことは望外の喜びであります。

重ねて、議員の皆さんのご労苦とご協力に感謝申し上げます。

そして、今期で引退される議員の皆さんのご健勝と、改選を目指される議員の皆さんのご健闘をご祈念申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。